

事務事業名	吉田パーキングエリア整備事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉	所属G	国県事業G	課長名	藤原重信
施策名	〈08〉高速・広域交通網の整備	担当者名	佐藤 勝	電話番号	0854-40-1062
目的	対 A) 高速道路利用者 B) 広域道路利用者	意図	市外主要都市と雲南市を安全で迅速に移動できるようにする。	(内線)	3736
基本事業名	〈022〉高速道路の整備促進	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 8 項目 中事業 中事業名 1 0 1 5 0 1	国道・県道整備事業 高速道路整備関連事業	
目的	対 高速道路利用者	意図	安全・迅速に高速道路を利用してもらう。		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (18 年度 ~ 24 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
(事務事業の概要) ・吉田地域活性化施設と追加ICに関する関係機関の協議・調整 (具体的なやり方、手順、詳細) ・高速道路の開通に併せ道の駅として供用開始できるよう協議・調整及び工事を行う。また追加ICについても、同時期の連結を目指すとともにIC線の工事を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		・地域活性化施設詳細設計 ・地域活性化施設建築工事発注及び施工管理 ・IC線舗装工事発注及び施工管理	平成24年度終了			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 用地買収	%	100	—	—	
	イ 工事進捗率	%	0	20	100	
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	・高速道路利用者 ・吉田地域の住民	ア 地域活性化施設	棟	0	0	1	
		イ 休憩施設	棟	0	0	1	
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	・安全・迅速に高速道路を利用してもらう。 ・吉田地域における利便性が向上する。	ア 高速道路利用者数	台/日	5,600.0	3,400.0	2,800.0	
		イ 時間短縮(雲南市内)	分	0	30	30	
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
地域活性化施設整備費: 283,489千円 地域活性化IC線整備費: 47,300千円	財源内訳	国庫支出金	千円	17,028	67,405	
		県支出金	千円			
		地方債	千円	14,600	40,800	250,800
		その他	千円			
		一般財源	千円	4,472	5,343	12,584
		事業費計(A)	千円	19,072	63,171	330,789
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	3
		延べ業務時間	時間	480	640	1,500
		人件費計(B)	千円	1,866	2,523	5,877
		トータルコスト(A)+(B)	千円	20,938	65,694	336,666

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
中国横断自動車道尾道松江線が国土交通省による新直轄事業となり、高速道路本線上での施設整備が出来なくなったことから、雲南市として高速道路隣接地に道の駅として地域活性化施設の整備を行なった。	高速道路本線上での施設整備が出来なくなったことから、道の駅として施設の認知を図ることとした。 また、公設民営によりランニングコストの縮減を図った。	地域活性化施設計画については、合併前から協議がなされており、観光産業に寄与する追加IC設置についても、地元地域からの要望がなされていた。

事務事業名	吉田パーキングエリア整備事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	国土交通省と調整し、建設を完了したので、向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	廃止・休止した場合、吉田PAは国の必要な機能のみの施設となる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		統廃合はできない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		高速道路の利活用の検討については事業費はない。造成やアクセス道路整備の事業費については、国にお願いして事業費が削減する方法で整備を実施した。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	関係機関との協議・調整をし、最小限の人員で事業を実施した。		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		吉田PAの取り組みについては一部(吉田町・掛合町)の受益となるが、観光産業など市内全域を対象となる要素もあり、高速道路の活用方法の検討・工夫により雲南市全域が受益対象者となる。
	① 1次評価者としての評価結果			② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高速道路建設の事業主体である国土交通省と協議しながら、高速道路に付随する市の事業も進め、工事コスト、ランニングコストが軽減されるよう検討し、整備を完了した。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
平成24年度末、吉田掛合IC～三次東JCT・IC間が供用開始となり、道の駅が供用され、建設事業は完了した。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		